

著者紹介（執筆順／①所属，②略歴と専門，③主要著書）

藤川 清史（ふじかわ きよし）

編者／はじめに・第13章・第14章

- ①名古屋大学アジア共創教育研究機構教授
- ②神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学，博士（経済学）。国連経済社会局専門職員，大阪経済大学経済学部助教授，甲南大学経済学部教授，名古屋大学大学院国際開発研究科教授を経て，2018年より現職。専門は計量経済学，環境経済学。
- ③藤川清史（1999）『グローバル経済の産業連関分析』創文社。
藤川清史編（2015）『中国経済の産業連関分析と応用一般均衡分析』法律文化社。

渡邊 隆俊（わたなべ たかとし）

第1章

- ①愛知学院大学経済学部教授
- ②帝塚山大学大学院経済学研究科博士後期課程中退，修士（工学），修士（経済学）。甲南大学講師，愛知学院大学商学部講師，同准教授，同教授を経て，2013年より現職。専門は計量経済学，経済政策学。
- ③渡邊隆俊（2010）『地域経済の産業連関分析』成文堂。

伴 ひかり（ばん ひかり）

第2章・第3章・第9章・第11章・第12章

- ①神戸学院大学経済学部教授
- ②神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学，博士（経済学）。神戸学院大学経済学部講師，同准教授を経て2008年より現職。専門は国際経済学，経済政策学。
- ③伴ひかり・藤川清史（2010）「CO₂国内排出量取引の経済効果」諸富徹・山岸尚之編『脱炭素社会とポリシーミックス』日本評論社（第5章），167-186。
伴ひかり（2011）『グローバル経済の応用一般均衡分析』晃洋書房。

森 徹 (もり とおる)**第4章～第6章**

- ①南山大学総合政策学部教授
- ②名古屋市立大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学，博士（経済学）。
福島大学経済学部助教授，帝塚山大学経済学部教授，名古屋市立大学大学院経済学研究科教授を経て，2017年より現職。専門は財政学，地方財政論。
- ③森徹・鎌田繁則編（2013）『格差社会と公共政策』勁草書房。
森徹・森田雄一（2016）『租税の経済分析—望ましい税制をめざして』中央経済社。

三宅 敦史 (みやけ あつし)**第7章・第8章・第10章**

- ①神戸学院大学経済学部准教授
- ②神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程修了，博士（経済学）。神戸学院大学経済学部講師を経て，2011年より現職。専門はマクロ経済学。
- ③栗原潤・中村亨・三宅敦史訳（2013）（ベン・バーナンキ著）『大恐慌論』日本経済新聞出版社。
三宅敦史（2017）「貨幣と物価」中村保・大内田康徳編『経済学入門』ミネルヴァ書房（第9章），175-193。